

フェリックス・パートナーズの戦略コンサルティング

実践型

『オペレーショナル経営支援』

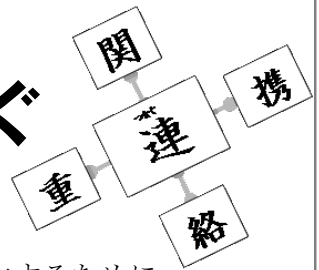
～オペレーションの視点から革新的な事業戦略を構築する～

分業組織のたこつぼを壊す！！

従来からの日本型組織は分業が典型となっています。その結果、組織のたこつぼに陥っているのが現状です。これから目指すべきは統合的な視点をもった組織です。実践型「オペレーショナル経営支援」はビジネスの最前線に立つミドル層を活性化させて、個々の機能を「縦」と「横」に“**運ぐ**”ご支援を致します。



1 オペレーショナル経営で 機能の「縦」と「横」を連ぐ



「創って」「売る」までのオペレーションの各過程で付加価値を最大化するために、
個々の機能を「縦」と「横」に“**連ぐ**”必要があります。

分業

メリット：
業務範囲の明確化による生産性の向上

デメリット：
全体よりも業務範囲を優先した「たこつぼ」組織になりやすい

空白を埋める
バランスをとる
連ぐ

統合

メリット：
顧客を出発点とした組織全体の繋がり

デメリット：
広く・浅く課題が定まり難い

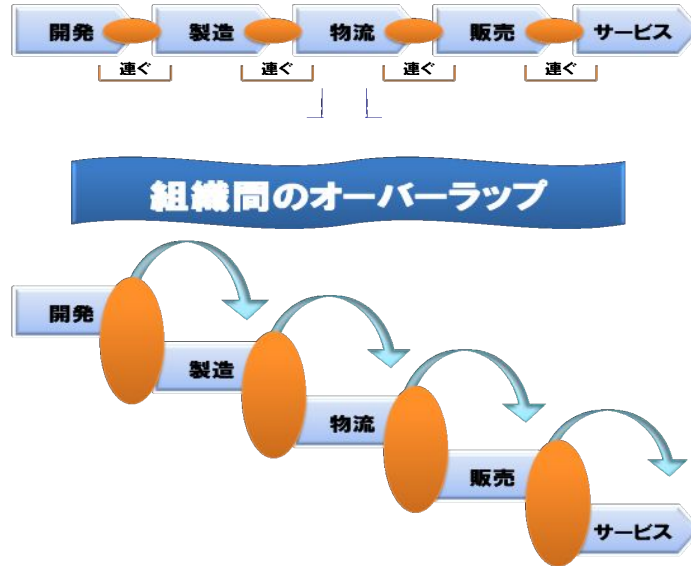
2 オペレーショナル経営のための 5つのステップ

フェリックス・パートナーズは、組織の壁を壊して**連ぐ**5つのステップでオペレーショナル経営を実現します。

1	分業によるタコツボから脱却するため、機能を連ぐ	⇒	改革のための CFT（クロスファンクショナルチーム） を組成する
2	組織の縦を連ぐ	⇒	トップダウンとミドルアップ の融合
3	パートナー企業、顧客との関係を連ぐ	⇒	SCM（サプライチェーン・マネジメント） の構築
4	時間軸を意識して、過去から未来に連ぐ	⇒	実践 から学ぶ
5	実践から戦略を組み立て、戦略から実践を連ぐ	⇒	創発 の確立

3 つな 連いで生まれる創発集団

開発～サービスに至る各機能の間を、ミドル層を活性化させてつなぐことで部門間の溝を埋め、統合的な視点をもった組織を創ります。



4 オペレーショナル経営は イノベーションを生み出します

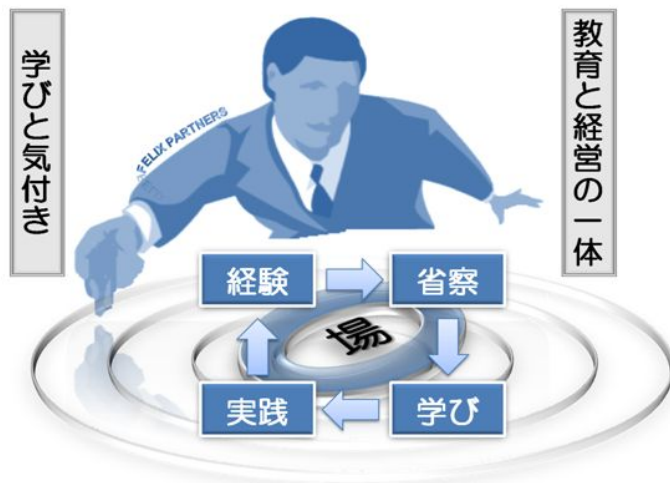
フェリックス・パートナーズは、CFTを軸にして競争優位なイノベーション戦略を導き出します。

《創造するイノベーションの類型》

1	従来製品・サービスで、さらなる付加価値を高め、これを、ニーズの高い主要顧客に対して行う (VA (Value Add) イノベーション)
2	従来製品・サービスで、低性能・安価なものを受け入れる顧客を見出し、低価格、安価な製品・サービスを創り出す (破壊的イノベーション)
3	従来製品・サービスで不要な機能やコストを削減、同時に新機能を追加して他社と差別化し、「大幅改良製品」として販売する (バリューイノベーション)
4	顧客が気付いていない機会を提供するような、全く新しい将来製品を開発する (革新的イノベーション)

フェリックス・パートナーズの役割

実践型オペレーショナル経営支援コンサルティングは、一連の取り組みを通じて学びと気づきを与えます。当社は実際のマネジメントの場で、教育と経営の一体化を実現するための実行支援者となります。



❖対象企業❖

- ☑ 自社のバリューチェーン（開発～販売）を見直し、事業戦略全体の再構築を検討している企業
- ☑ 分業組織の壁を壊し、組織全体で顧客志向のベクトルを強くしたい企業

❖実践型オペレーショナル経営で得られる成果❖

- ☑ 競争優位を生み出す自社の戦略を創出し、実践に活かすことができる
- ☑ 戦略とは何かを理解し、自ら構築できる人材を輩出できる

※契約期間は4ヶ月以上から承ります。

※コンサルティング費用はお打ち合わせの上、別途お見積りさせていただきます。

連の由来
「連」は、古代日本の有力氏族に与えられた姓（かばね）の一つで、「連（むらじ）」と呼ばれ、官職や職業を束ねる立場を指していました。要素が重なる、連携する、連絡を密にする、共に行動するなどの意味から連想して、「連ぐ」と書いて「つなぐ」と呼び、フェリックス・パートナーズが組織や戦略をつなぐ役割を果たすイメージを表現しています。

本件に関するお問い合わせ

フェリックス・パートナーズ株式会社 担当：木暮・大槻

住所 東京都中央区京橋1-19-10 大宗ビル8階

TEL 03-3567-9410

FAX 03-5579-9655

URL <http://www.felix-partners.com>

E-mail info@felix-partners.com